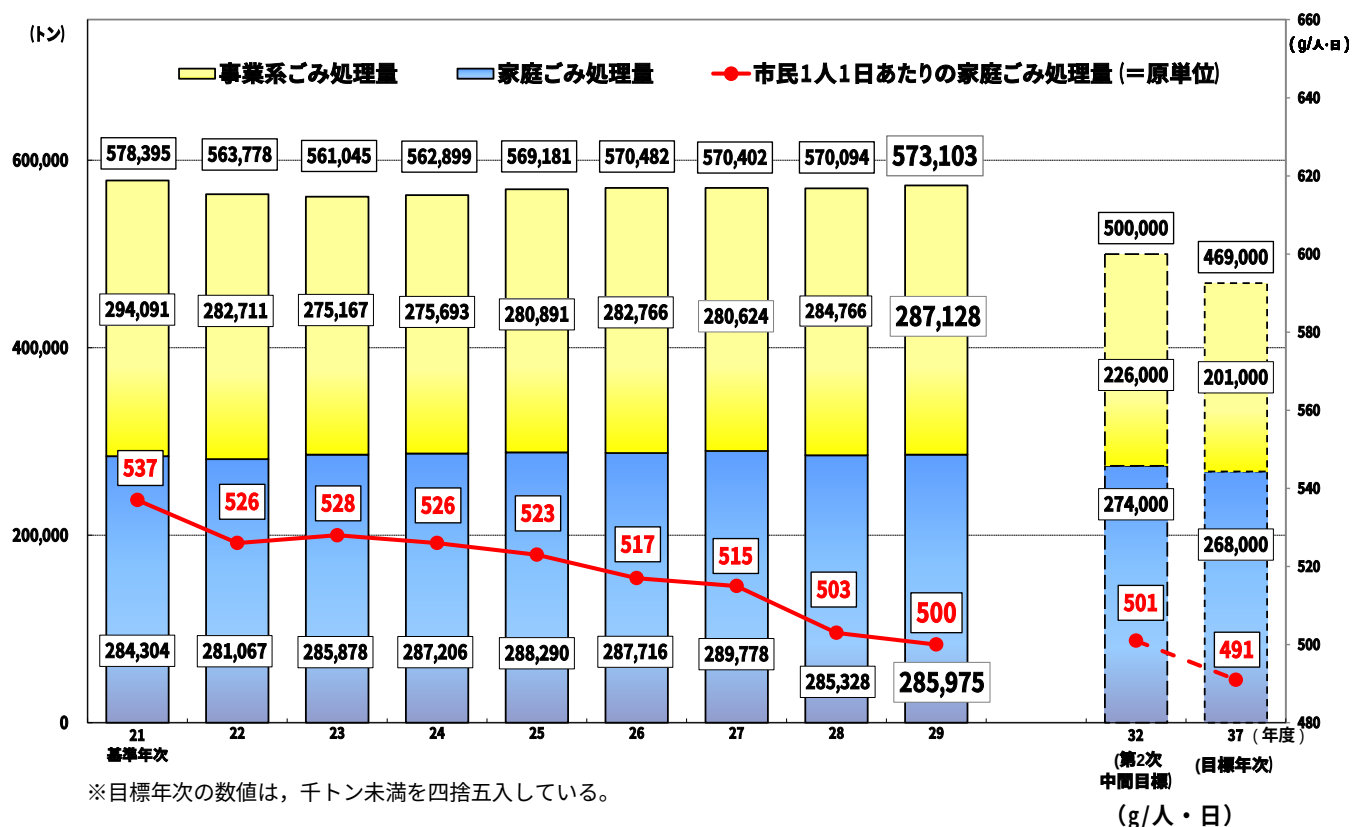


新循環のまち・ふくおか基本計画の進捗状況について（29年度）

1 数値目標、取組指標の状況

数値目標① ごみ処理量



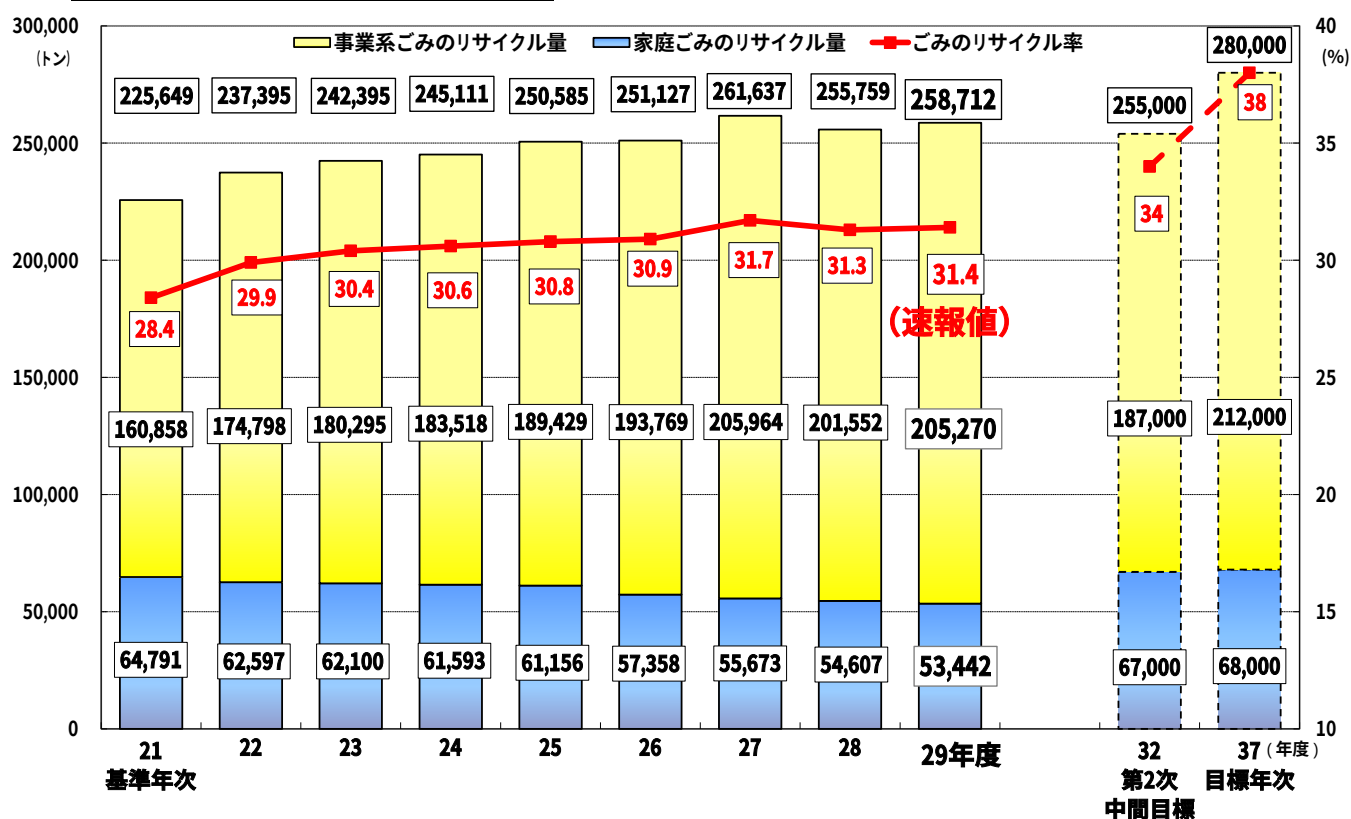
年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	(g/人・日)	
家庭ごみ原単位	537	526	528	526	523	517	515	503	500	501	491

家庭ごみについては、人口が1%程度増加する中、市民の3Rへの取組みなどで1人1日当たりのごみ処理量（原単位）は順調に減少しており、処理量はほぼ横ばいとなっています。

事業系ごみについては、経済状況の好転や交流人口が増加する中、ほぼ横ばいとなっています。

平成29年度のごみ処理量の合計は約57万3千トンで、基準年次と比較すると約5千トンの減となっていますが、近年はほぼ横ばいとなっており、目標に近づけるために、さらなる3Rへの取組みが必要です。

数値目標② ごみのリサイクル率



平成 30 年度のリサイクル率は、31.4%となっており、基準年次の平成 21 年度と比較して 3.0 ポイント増加しております。

また、リサイクル量については、基準年次と比較して約 3.3 万トン増加しています。

家庭ごみのリサイクル量は減少傾向にありますが、主に新聞発行部数の減少等によるものです。

事業系ごみは、排出事業者への減量指導により、古紙や食品廃棄物のリサイクル量が増加しています。

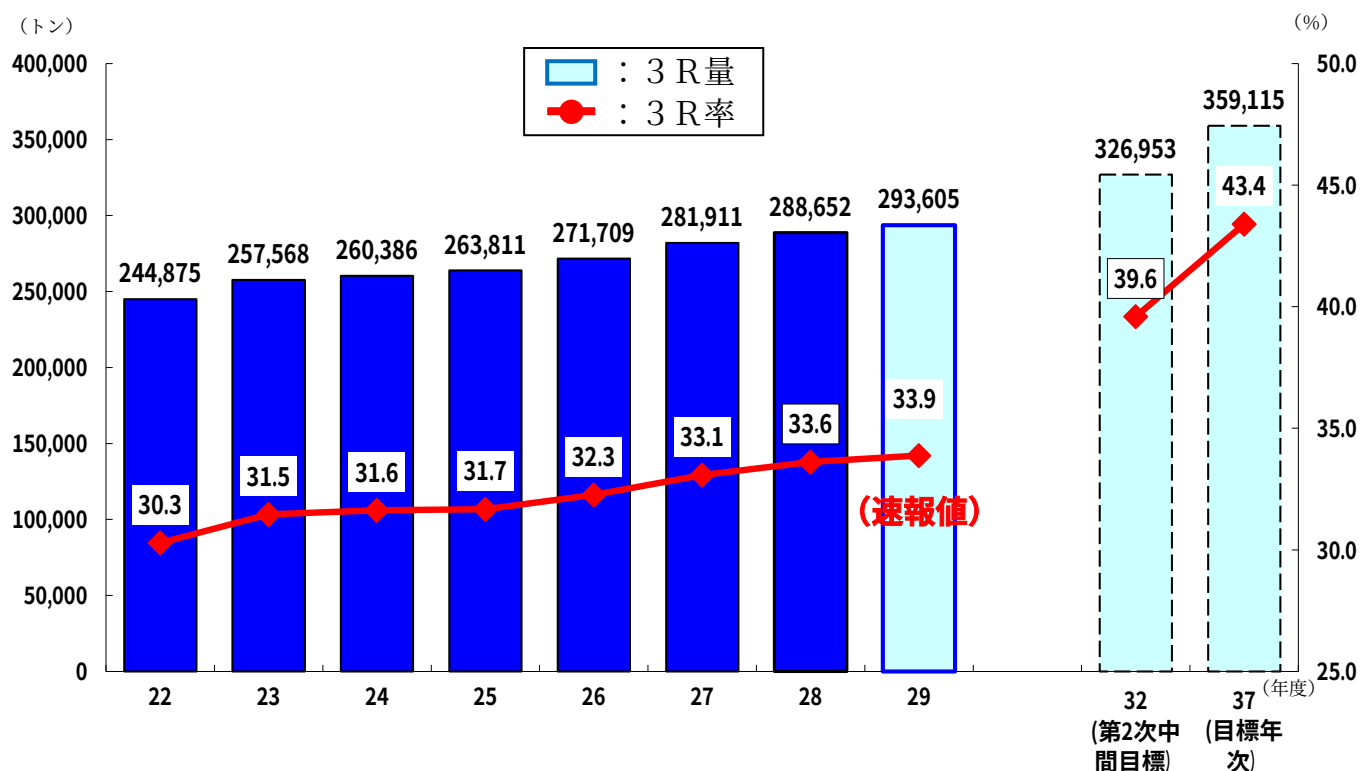
しかしながら、ごみ処理量がほぼ横ばいであるため、さらなるごみ減量が必要です。

取組指標① 3 R率（ごみの発生量に対する3 Rが実践された比率）

【目的】

リサイクルだけでなく、リデュース・リユースの取組みを推進するため、3 R率を把握する。

【実績】



平成29年度の3 R率は33.9%であり、平成22年度と比較して3.6%増加、3 R量は約4万9千トン増加しております。

市民・事業者がリサイクルに取り組んだことにより、3 R率及び3 R量がともに上昇しております。

< 3 R率の算定方法 >

原単位(市民1人1日あたりごみ発生量)の減少量：61g/日・人 (H28n: 58g/日・人)
 = 平成21年度の原単位 1,500g/日・人 - 平成29年度の原単位 1,439g/日・人

2 R量：34,893 トン (H28n: 32,893 トン)
 = 原単位の減少量 61g × 年間日数 365 日 × 平成29年度の推計人口 1,567,189 人

3 R量：293,605 トン (H28n: 288,652 トン)
 = 2 R量 34,893 トン + 平成29年度のリサイクル量 258,712 トン

3 R率：33.9% (H28n: 33.6%)
 = 3 R量 293,605 トン ÷ (平成29年度のごみ処理量 573,103 トン + 3 R量 293,605 トン)

取組指標② 3Rの実践度（市民の3Rの行動の広がりを示す指標）

【目的】

3Rの実践が市民に広まっているかどうかを把握する。

【実績】

○ ごみ減量・リサイクルへの関心度

	21年度 (基準年次)	27年度	28年度	29年度	基準年比 (ポイント)
関心度	90.9%	91.4%	93.3%	90.5%	-0.4

○ 3Rの認知度

			21年度 (基準年次)	27年度	28年度	29年度	基準年比 (ポイント)
3R	2R	リデュース	38.2%	58.7%	62.8%	61.7%	+23.5
		リユース	49.8%	64.2%	65.7%	65.9%	+16.1
	リサイクル		89.1%	94.5%	92.2%	92.7%	+3.6

【評価】

ごみ減量・リサイクルへの関心度は9割を超えており、多くの市民がごみ減量・リサイクルに関心を持っていることがわかります。

特にリデュースの認知度については、基準年次と比較して大きく向上しています。

○ 3Rの実践状況

実践項目		実践率				基準年比 (ポイント)
		21年度 (基準年次)	27年度	28年度	29年度	
リデュース	レジ袋辞退	63.3%	76.5%	75.3%	68.4%	+5.1
	詰替商品の購入	58.8%	81.3%	82.5%	78.0%	+19.2
	生ごみの削減	53.1%	56.3%	59.7%	58.2%	+5.1
	計画的な購入	46.1%	46.8%	37.9%	40.7%	-5.4
リユース	フリーマーケット等の活用	24.3%	34.3%	35.3%	40.3%	+5.0 (前年比)
	知り合いへの譲渡	33.5%				
リサイクル	集団回収の利用度	65.6%	—	68.0%	62.8%	-2.8
	古紙回収ボックスの利用度	34.9%	—	30.3%	29.7%	-5.2

※平成21年度は福岡市ごみ減量・リサイクルに関する意識調査結果 調査数 5000 有効回答率 57.0%

※平成27年度以降は市政アンケート結果

平成27年度 調査数 630 有効回答率 86.0%

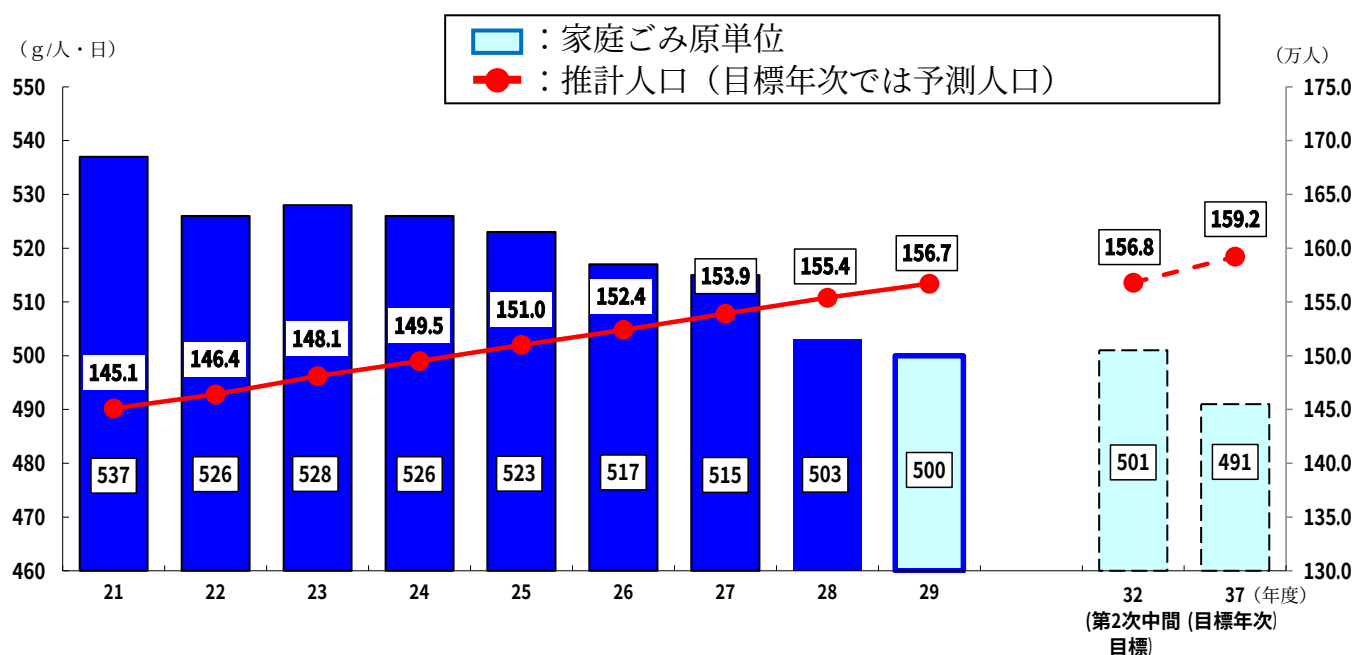
平成28年度 調査数 607 有効回答率 86.5%

平成29年度 調査数 623 有効回答率 88.0%

【評価】

リデュース、リユースは基準年次と比較して増加傾向にあり、特にリユースはSNSの普及等により年々増加しております。しかしながら、生ごみの削減、計画的な購入の実践率は4割から5割台で推移しているため、さらなる啓発が必要です。

○ 市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量（＝原単位）



【 評 価 】

市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量については、年々人口が増加する中、平成23年度以降は順調に減少しており、平成29年度の実績は平成32年度の目標である501グラムを下回りました。

今後も市民が様々な3Rに取り組めるよう必要な情報をわかりやすく提供していきます。

取組指標③ 有害廃棄物等適正処理の実践状況（有害廃棄物等に対する認識や取組みを示す指標）

【目的】

環境負荷の低減のために、市民が蛍光灯や水銀体温計などの適正処理に取り組んだ状況を把握する。

【実績】

区役所等の回収拠点での回収量

	21年度 (基準年次)	27年度	28年度	29年度	基準年比
蛍光灯・乾電池の量(トン)	1	10	23	28	+27
水銀体温計等(kg)	—	—	163	125	—

蛍光灯及び乾電池の回収は、平成27年度から家電量販店13か所でも回収を開始し、28年度には6か所、29年度には30か所増設し、回収量が増加しました。30年度はさらに10か所増設する予定（8月27日時点 6か所増設）で、今後、各拠点での回収量増加に向け、回収場所の周知や、持ち込みへの協力について啓発を行います。

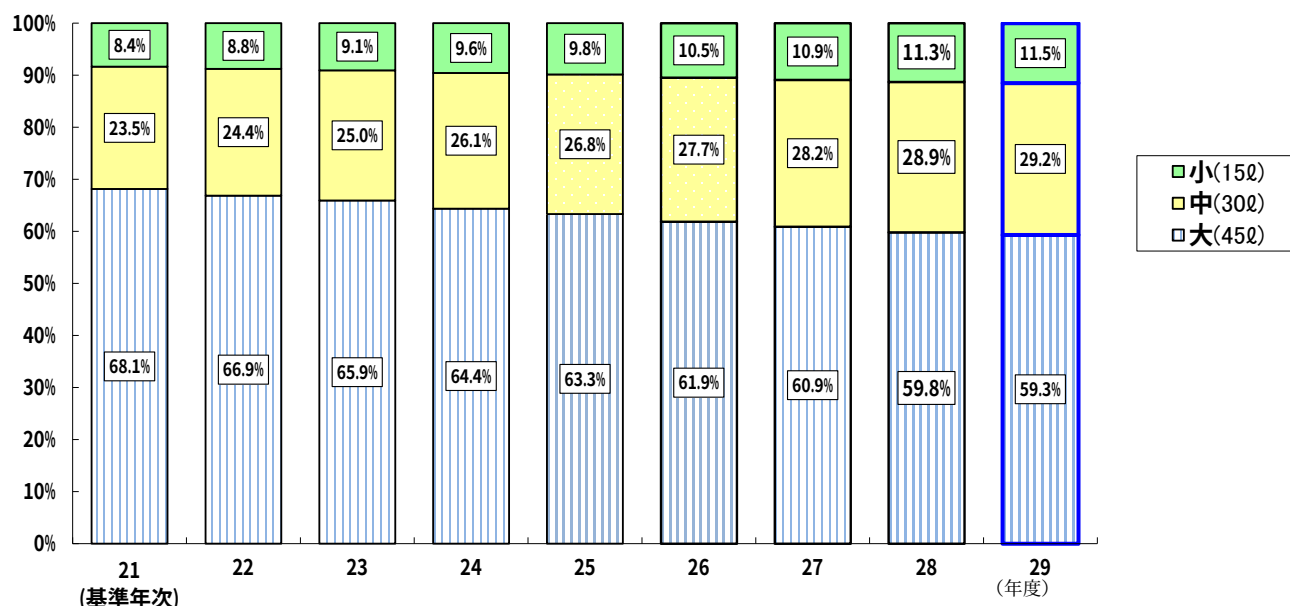
水銀体温計などの水銀添加廃棄物の回収は、平成28年度に環境省のモデル事業として福岡市薬剤師会の会員薬局約700か所に回収ボックスを設置、平成29年度からは区役所・市民センターなどを加えて実施しており、計125kgを回収しております。

取組指標④ 家庭ごみの容積

【目的】

家庭ごみの減容化の進捗状況を確認するため、家庭用可燃ごみ袋の販売数を把握する。

【実績】



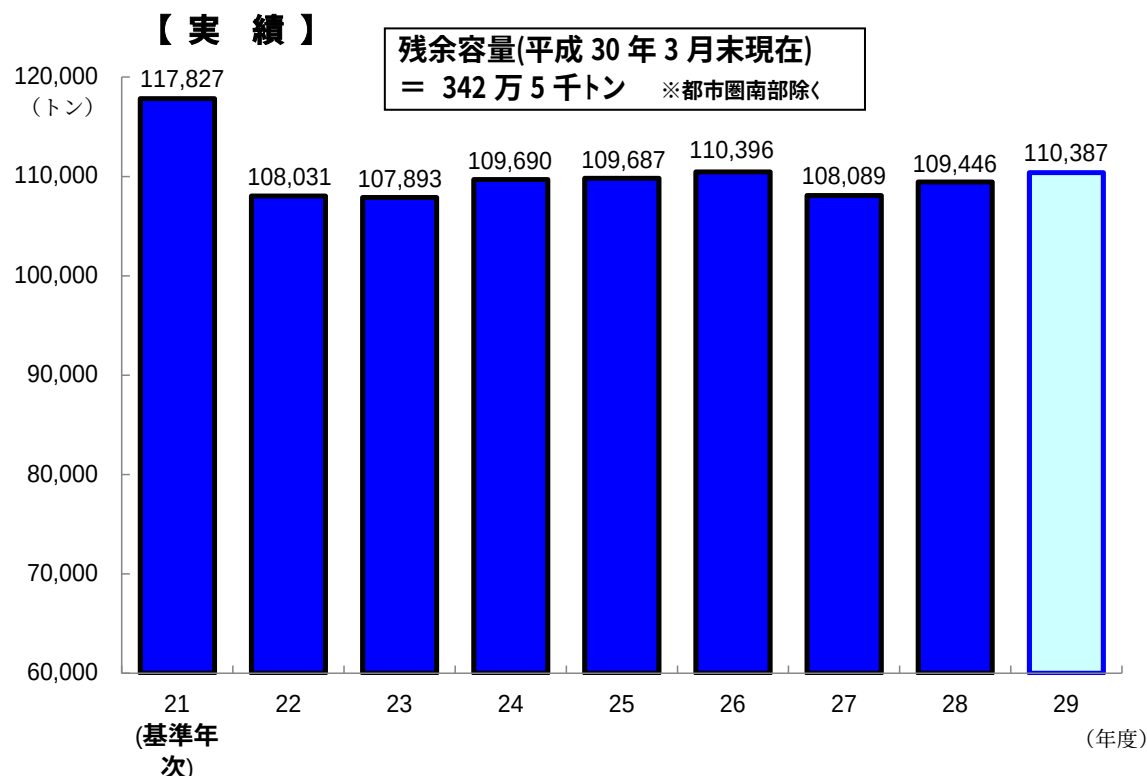
家庭用可燃ごみ袋の販売実績によると、大袋の割合が毎年度確実に減少しており、平成21年度の構成比と比較すると、大袋が8.8ポイントの減少、中袋は5.7ポイントの増加、小袋は3.1ポイント増加となっております。

単身世帯の増加による影響だけではなく、市民一人当たりのごみ排出量が減っていることから、より小さなごみ袋を使用する世帯が増えていると考えます。

取組指標⑤ 埋立処分量

【目的】

埋立場の延命化のために、埋立処分量の削減が進んでいるか把握する。



埋立処分量は、ごみ処理量と同様にほぼ横ばいで推移しております。

取組指標⑥ 温室効果ガス排出量

【目的】

「低炭素社会づくり」への配慮として、廃棄物発電による温室効果ガス（CO₂）の排出削減の取組み状況について把握する。

【実績】

廃棄物発電による CO₂ 排出削減量

(単位 上段：トン
下段：MWh)

	21 年度 (基準年次)	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
CO ₂ 削減量	89,676	130,453	152,921	152,441	131,796	129,677	126,155
発電電力量	239,775	248,481	249,871	248,680	249,612	268,481	272,472

- ・発電電力量は 4 工場で発電した電力量のうち、福岡市内で発生したごみの割合に相当する電力量である。
- ・CO₂ 削減量は各年度に環境省から発表される九州電力㈱の CO₂ 排出係数を発電電力量に乗じて算出するため、発電電力量と比例しない。(29 年度は暫定値)

平成 29 年度の廃棄物発電による CO₂ 削減量は、基準年次の平成 21 年度と比較して約 3 万 6 千トン増加しています。発電電力量も基準年次と比較して、平成 29 年度は約 3 万 3 千 MWh 増加しており、安定的な発電を維持しています。

2 平成 29 年度の事業実績

(1) 家庭ごみの 3 R 施策

① リサイクルに関する事業

(単位：トン)

品 目		基準年次	前年度	実績	目標値		
項 目		H21	H28	H29	H27 第 1 次	H32 第 2 次	H37 最 終
事業内容							
古紙, 空き缶, リターナブルびん, 布類等							
1 地域集団回収等							
古紙等の資源物のリサイクルを推進するため、地域集団回収等実施団体に報奨制度による支援を行うとともに、市民の身近で利用しやすい場所に資源物回収拠点を設置する。(H28 実績は、地域集団回収、紙リサイクルボックス、校区紙リサイクルステーション、区役所等公共施設での拠点回収、新聞社の新聞古紙回収などによる回収量)		48,184	37,421	34,515	49,896	50,781	51,550
空きびん, ペットボトル							
2 民間協力店							
民間協力店 73 か所に資源物回収拠点を設置し、空きびん・ペットボトルの回収を行う。		1,982	2,167	2,126	2,049	2,061	2,064
3 戸別回収							
家庭から収集された空きびん・ペットボトルを、びん・ペットボトル中継保管施設又は選別処理施設に搬入・選別後、再商品化事業者に引き渡す。		7,075	8,521	8,759	7,320	7,363	7,373
アルミ缶, 食品トレイ等							
4 スーパーマーケット等による店頭回収							
スーパーマーケット等の店頭において、アルミ缶や食品トレイなど資源物の自主回収が行われている。		991	977	1,898	991	991	991
鉄, アルミ							
5 燃えないごみからの鉄・アルミの回収							
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破碎し、磁選機等により鉄、アルミを回収、再資源化する。(家庭系/事業系は搬入量を基に案分)		5,443	5,023	5,715	4,998	4,891	4,762
廃食用油							
6 廃食用油の回収							
家庭から出る廃食用油を回収し、再資源化する。		—	2	2	5	50	100

品 目		基準年次	前年度	実績	目標値		
項 目		H21	H28	H29	H27	H32	H37
事業内容					第 1 次	第 2 次	最 終
蛍光灯・乾電池							
7 蛍光灯・乾電池の回収							
家庭から排出される蛍光灯・乾電池の拠点回収を行い、再資源化する。(H28, H29 実績のうち 3 トンは項目1と重複)		1.0	23	28	10	150	300
携帯電話、デジタルカメラ等							
8 使用済小型電子機器回収							
携帯電話などの使用済小型電子機器の回収を行ない、レアメタルなどの貴重な資源のリサイクルを行う。		—	46	57	—	—	—
古着							
9 古着の回収							
使えなくなった古着の回収を行い、リサイクルを行う。		—	9	13	—	—	—

②啓発等に関する事業

項 目		実績 (H29)
事業内容		
10 3R推進啓発事業		
マイバッグ持参によるレジ袋削減や食品ロス削減の取組みなど、3Rの内容を市民に周知し、日常生活の具体的な行動に結びつけていくための広報啓発を行う。		3R推進モニター:172名 食品ロス削減講座、エコッキング教室の実施 参加人数:958名
11 出前講座		
地域団体や日本語学校、及び小学5、6年生の家庭科の授業において、ごみの分別体験等を通じて3Rについての理解を深める出前講座を実施する。		実施回数:56回 受講者数:2,833人
12 ごみ減量広報・啓発活動		
転入者向けに家庭ごみルールブック等を作成・配布するなど広報活動を行う。		家庭ごみルールブック:100,000部 家庭ごみガイド:63,000部
13 3Rステーション事業		
3Rステーション(西部、臨海)において、市民へのごみ減量・3Rに関する情報提供、体験・活動の場の提供、各種講座やイベントの開催を行うとともに、不用品の受入・提供等を実施する。		入館者総数:119,882名 講座等開催回数:1,552回 不用品提供数:316,961点

項 目		実績 (H29)
事業内容		
14 生ごみリサイクル促進事業		
クリーンパーク・東部等において、生ごみのリサイクルを推進するために、生ごみ堆肥の作り方や堆肥を活用した耕作についての市民講座を行う。		菜園講座 実施回数:23 回 参加人数:301 名 段ボールコンポスト学習会 実施回数:5 回 参加人数:70 名
15 環境学習支援事業		
小中学校等の環境学習において分別指導などを行う。		環境学習支援実施回数:258 回 参加人数:16,076 名
16 空き缶等散乱防止及び再資源化促進事業		
環境と調和した地域社会の構築を目的に、空き缶等散乱防止、再資源化のための回収促進に、福岡都市圏内 17 市町が一体となり取り組む。		Jリーグ公式戦におけるポイ捨て防止PR看板掲出:21 ゲーム
17 都市美化運動の推進		
市民団体、事業者、行政により福岡市空き缶・びん対策協会を組織し、空き缶・びんの適正処理について啓発活動等を行う。		小・中学生ポスターコンクール応募作品:862 点
18 不法投棄対策		
監視パトロールやカメラによる監視等を実施するとともに、ポスター等による市民への啓発や警察等関係機関と連携。		不法投棄処理量:79 トン 処理件数:688 件
19 エコ発する事業		
NPO 法人や市民団体が自ら発意・企画し、自主的に取り組んでいる様々な環境活動について、財政面及び広報面に関する支援を行う。		補助件数:11 件
20 環境市民ファンド		
環境市民ファンド(基金)を活用し、NPO 法人や自治会等、市民が主体的に行う環境保全活動を支援する。 下記4分野における事業についてファンドを活用 ①3R ②温室効果ガスの排出削減 ③自然環境の保護(地域清掃を含む) ④複合的な活動(①～③を含む)		地域集団回収等報奨制度、拠点での資源物回収事業、ラブアース・クリーンアップ事業、生物多様性ふくおか戦略の推進など、全 22 事業に活用
21 福岡市環境行動賞		
環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰し、それらを広く市民に周知する。		応募:83 件 第9回表彰式は H30.6.8 開催 表彰:75 件

項 目	
事業内容	実績 (H29)
22 環境フェスティバルふくおか	
環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型イベントの実施。	H29.10.21・22 福岡市役所西側ふれあい広場にて開催。 来場者数 33,000 名, 出展団体 42 団体
23 循環のまち・ふくおか推進会議	
市民, 事業者, 行政で組織し, 循環型社会に向けた具体的な行動を協議し, 全市的な実践活動の展開を図る。	・循環のまち・ふくおか推進会議 (H30.1.23) テーマ: 福岡市のごみ処理の状況と 3 R の取組み 参加委員 28 名 事例発表: 僕らの環境活動 発表者: 中村学園三陽高等学校 事例発表: 乳幼児期からの取組み 発表者: 社会福祉法人恵和会 めぐみ保育園 事例発表: エフコープ生活協同組合の取組み 発表者: エフコープ生活協同組合

(2) 事業系ごみの3R施策

①リサイクルに関する事業

(単位:トン)

品 目		基準年次	前年度	実績	目標値		
項 目		H21	H28	H29	H27	H32	H37
事業内容					第 1 次	第 2 次	最 終
古紙							
24 事業所ごみ減量事業(古紙)							
特定事業用建築物 (延床面積 1,000 m ² 超) の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。		71,100	77,900	76,500 (速報値)	78,600	80,900	83,300
小規模事業者及び機密書類の資源化推進							
25 事業系古紙回収推進事業		62,552	92,400	98,251 (速報値)	68,024	74,674	81,324
中小事業者等を対象とし、ごみ許可業者や古紙業者等の協力のもとに構築した古紙回収システムにより、効率的・効果的な古紙回収を推進する。							
26 事業系古紙地域回収支援モデル事業							
複数の事業者が共同で古紙を回収するシステムを構築した場合に、費用の一部を補助する。							
27 市の施策以外の古紙の資源化量							
小規模事業者が独自に古紙回収を実施する。							
28 市庁舎内古紙回収							
市庁舎における古紙回収を実施する。		1,626	1,523	1,447	1,626	1,626	1,626
29 工場での古紙回収							
清掃工場に搬入された段ボール等古紙類を回収、再資源化する。		352	176	153	352	352	352

品 目		基準年次	前年度	実績	目標値		
項 目		H21	H28	H29	H27	H32	H37
事業内容					第1次	第2次	最 終
食品廃棄物							
30 事業所ごみ減量事業 (食品廃棄物)		1,320	6,537	7,087 (速報値)	5,100	11,600	18,000
特定事業用建築物 (延床面積 1,000 ㎡超) の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。							
31 事業系食品廃棄物リサイクル推進事業							
事業者のリサイクルルート構築を支援するため、今後のモデルとなるような事業の実験を実施する。							
小規模事業者の資源化推進							
32 事業系食品リサイクル支援モデル事業							
複数の事業者が共同で生ごみ処理機などを導入し、新たなリサイクルシステムを構築した場合に、費用の一部を補助する。							
33 市の施策以外の食品廃棄物の資源化量							
小規模事業者が独自に食品廃棄物を資源化する。							
紙おむつ							
34 紙おむつの資源化							
介護・福祉施設や医療機関などから排出される使用済み紙おむつを資源化する。		—	—	—	0	0	9,000
その他							
35 事業系ごみ減量事業 (缶・空きビン等)							
特定事業用建築物 (延床面積 1,000 ㎡超) の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。		15,952	17,400	16,800	11,700	12,100	12,400
36 市直営資源回収 (空きびん・ペットボトル)							
市庁舎における空きびん・ペットボトルを回収する。		53	34	29	40	40	40

品 目		基準年次	前年度	実績	目標値		
項 目		H21	H28	H29	H27	H32	H37
事業内容					第 1 次	第 2 次	最 終
37 公共施設資源回収 (蛍光灯)							
市庁舎における蛍光灯の回収を実施する。		13	9	9	10	10	10
38 緑のリサイクル							
街路樹等の剪定樹木をチップ化し土壌改良材として公共施設緑化事業に再利用する。		4,496	2,358	2,227	3,457	3,448	3,448
39 燃えないごみからの鉄・アルミの回収							
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破碎し、磁選機等により鉄、アルミを回収、再資源化する。(家庭系/事業系は搬入量を基に案分)		3,136	2,815	2,767	2,631	2,524	2,425

②啓発等に関する事業

項 目	事業内容	実績 (H29)
40 資源物回収協定制度		
資源物回収事業者との連携を強化するため、優良な資源物回収事業者と資源物回収協定を締結し、事業者を紹介する。	協定締結事業者数:21 事業者	
41 事業系ごみ資源化情報発信事業		
事業系ごみのリサイクルに関するホームページを構築し、資源化に関する情報提供や回収業者とのマッチングを行う。	マッチング申込件数:80 件	
42 エコアクション 21 取得推進事業		
市内事業者の環境保全に関する自主的な取組みを促進するため、環境省が推進している中小事業者向け簡易版環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の普及を図り、事業者による環境配慮の取組みを支援している。	エコアクション 21 認定企業者数 114 社 (平成 28・29・30 年度競争入札有資格者名簿に登載企業) エコアクション21導入セミナー実施 38 事業者	
43 グリーン購入ガイドライン (速報値)		
再生品など環境に配慮された製品の普及を図るために、福岡市グリーン購入ガイドラインを策定し、環境に配慮された製品を全庁的に率先購入している。	「福岡市グリーン購入ガイドライン」改定 庁内における適合状況の調査実施 平成 29 年度達成品目:119 品目/178 品目	
44 事業系ごみ資源化推進ファンド		
事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、循環型社会の形成を進めるための事業を実施する。	事業系ごみ資源回収推進事業、事業系ごみ資源化調査事業など、累計8事業に活用。	

項 目	
事業内容	実績 (H29)
45 福岡市環境行動賞	再掲
46 環境フェスティバルふくおか	再掲
47 循環のまち・ふくおか推進会議	再掲
48 事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業	
事業系ごみの資源化を推進するため、古紙、食品廃棄物、使用済み紙おむつ等の事業系一般廃棄物の資源化に関する技術等を研究しようとする事業者に対し、実証研究等に係る費用の一部を補助することにより、その取組みを支援するもの。	補助件数:0 件 (累計:10 件)
49 事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援	
本市の事業系一般廃棄物の資源化推進に寄与する施設及び設備を市内で整備するために要する費用について、その一部を補助することにより、本市の一般廃棄物の資源化施設の基盤整備を図り、もって循環型社会の形成を図るもの。	補助件数:0 件 (累計:1 件)